

施工段階		着工時		1	設備工事：  RC躯体スリーブの検討	シート番号 1-8			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	—						

### ポイント

#### ■スリーブ図の作成

梁や壁の貫通部はスリーブ図を作成し施工します。

#### ■スリーブ位置の整合性確認

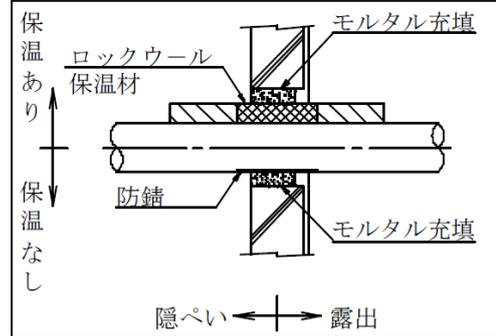
スリーブは貫通可能な位置等が規定されています。  
排水管などは勾配を考慮した位置とします。

#### ■スリーブ構造補強の実施

スリーブには基本的に構造補強が必要であり、必要な補強筋をセットます。（建築工事：工事区分要確認）

#### ■防水、耐火性能の維持

外壁貫通、区画貫通など、貫通によって防水、耐火性能が損なわれない様に施工します。



壁・梁の貫通部納まり

### 先輩アドバイス

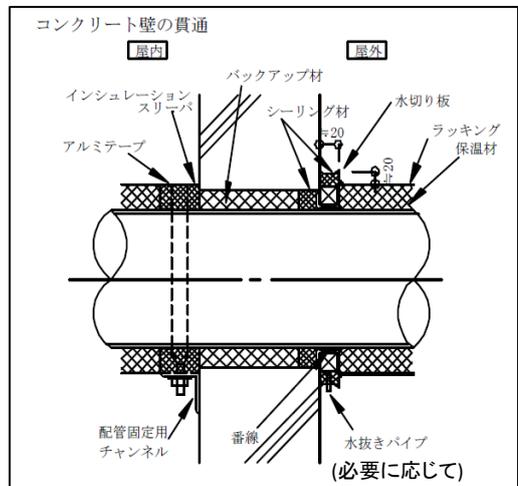
- ・絶対に間違えてはいけないのがスリーブ位置です。コンクリート打設前に位置・サイズ・補強筋などを確実に確認しましょう。

### チェック項目

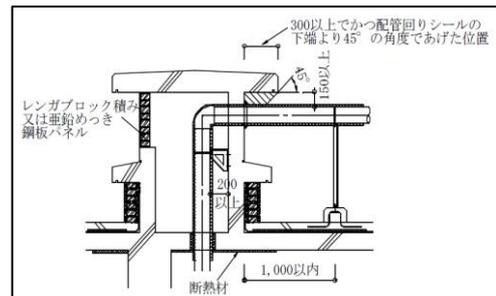
- 作成されたスリーブ図は総合プロット図・施工図を基に作成されていますか。
- 梁スリーブのは貫通可能位置に計画されていますか。柱面、梁下端からの離隔、相互間距離、最大スリーブ径など、構造特記仕様書の制約条件を確認してますか。
- 外部への貫通部は防水性能を損なわない納まりを検討し計画されていますか。
- 防火区画貫通部分は具体的な認定工法を確認し、その通り計画されていますか。

### 失敗すると...

- ・スリーブの位置修正は非常に困難です。
- ・外部への貫通部は不適切な施工による漏水が発生してしまいます。



外壁の貫通部納まり(例)



屋上貫通部納まり(例) (ハト小屋)

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		○	○	○	○	—	—	—	—
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	